

1 提案者 若林 晃平（長和町立和田小学校）

B 小社 2

2 提案内容

(1) 単元名「戦国の世から天下統一へ」（6 学年）

(2) 利用した番組 歴史にドキリ「織田信長～天下統一を目指した武将～」
「豊臣秀吉～武士が支配する世へ～」

(3) 授業のねらい

室町幕府が倒れ、再び戦乱の世の中になっていったことを学習した子どもたちが、天下統一に向けた動きについて調べる場面で、動画をみたり、年表や資料を読み取ったりすることを通して、2人の武将について興味関心を持つことができる。

(4) 授業の実践記録（全8時中第2時）

段階	学習活動	児童の様子・発言	指導・助言	備考
導入	1 前時のふりかえり (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 長野県は武田と上杉が争っていたんだよね。川中島の戦いだよね。 えっ？幕府つぶしたのが信長ってことは、信長は相当強いね。 	室町幕府が倒れたこと、各国の戦国大名が勢力を争っていたことを振り返る。 実は、室町幕府を倒したのは、織田信長だということを伝える。	教科書前時のノート
展開	2 単元の学習問題の確認 (5分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【単元の学習問題】戦国の世の中がどのように統一されていったのか、2人の武将に注目して考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 織田信長と豊臣秀吉の名前は有名だね。 この2人が協力していたことは知っている。でも具体的に何をしたかは知らない。 	2人の武将の人物画を掲示する。 この2人がいなければ、戦国時代は終わらなかったことを伝え、どのようなことを調べたいのか興味を持たせる。	
	3 動画視聴 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> 信長はやっぱり強い。強いだけではなくて頭がいい。 秀吉は戦ってより政治の方で活躍した感じがする。 家康も関係あるみたいだぞ。 	2人の名前は知っていると予想されるので、具体的に何をしたのか動画で確認して伝える。 一時停止したり、メモを取ったりしても良いことを伝える。	個々のタブレットで動画を視聴



	4 調べたい武将を決める (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・戦いが面白いから信長の戦いについて調べてみたいな。 ・信長が明智光秀に殺されたことが一番なぞだから調べてみよう。 ・信長の敵討ちとしてすぐに行動した秀吉がすごい。 ・天下統一を果たしたのは秀吉の方だから秀吉について調べたいな。 	<p>動画を見て、もっと知りたい、調べたいと思った武将を決めさせる。</p> <p>その武将の何に興味をもったのか発言させる。</p>	
終末	5 次時の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで調べられるのは楽しそうだ。 ・図書館の本も借りてみよう。 	<p>次回から、それぞれの武将について番組のクリップや教科書、資料集などを使って調べ学習をすることを伝える。</p>	

(5) 考察

- ・普段はまとめの一環として、利用している「歴史にドキリ」を単元の導入として利用した。歴史が好きな子よりも歴史が苦手と感じている子がどのようになるのかと様子を見ていたが、先に動画を見せることで、大まかな内容をつかむことができていた。単元の導入場面で
- ・動画という部分が何よりの強みである。教科書や資料集だけでは、なかなか学習に集中できない児童でも、動画視聴の時間になると積極的に動画を見ようとする姿や一時停止したり、メモをとったりしている姿から学習が自分のものになっているように感じる。また教師も、児童がどのようなことに興味をもっているのか、把握することができる点で動画視聴は有効である。
- ・一人一台端末が普及したことにより、授業にとらわれず、家に帰ってから動画視聴を宿題として出すこともできる。また、社会や歴史の学習が苦手な教師にとっては、動画があることで端的に児童に指導できたり、学習にメリハリを生んだりできるという点でも有効的に感じる。

(6) 番組への要望

- ・「歴史にドキリ」の内容が10年以上更新されていないように感じる。そろそろ内容や演出者を一新してほしい。
- ・新しく番組を製作する場合は、歴史ソングはクリップにしてほしい。